

Rosario Quarterly Information



広報 ロザリオ

第133号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



目次

第25回ロザリオ福祉まつり 夢～新たな一歩～・・・	2	第25回ロザリオ福祉まつりにご協力いただき	
新連載 私の新人時代①「30年前を振り返って」・・・	3	ありがとうございました・・・	7
第20回長嶋旗争奪野球大会・・・	3	福祉まつりフォト特集・・・	7
平成26年度 合同防災訓練・・・	4	フォトギャラリー・・・	8
長岐ホールスロープ手すり修繕・・・	4	新任者紹介・・・	9
ご寄付に感謝・・・	5	行事予定・・・	10
新ハイエース納車・・・	6	障害者週間行事のお知らせ・・・	10
車両購入・・・	6	ボランティア募集のお知らせ・・・	10
寄付者御芳名・・・	6	職員募集のお知らせ・・・	10

第25回ロザリオ福祉まつり

夢 新たな一歩

聖家族園 施設長 中曽根才智

9月28日、天候が心配され多少風が強い状況でありましたが、第25回ロザリオ福祉まつりを無事行う事ができました。

午前9時30分、体育館において開会式セレモニーが開かれ、米本後援会長、桑島理事長、越川家族会会長の挨拶の後、千葉県健康福祉部障壁課古屋課長様、明智旭市長様、越川銚子市長様、香取市長代理片野社会福祉課長様の心温まるお言葉を頂き、標語・ポスターの表彰が行われ福祉まつりが始まりました。

模擬店は地元黒潮会、神宮寺ソフトラブを始めとする協力団体、近隣の福祉団体の応援や法人内施設・事業所の家族会、職員の出店等で例年どおりの賑わいを見せました。

体育館ステージでは相変わらず椎名佐千子歌謡ショーの人氣が高く大入り状況、また椎名佐千子さんのトークの中で、毎年「この福祉まつりに来るのが楽しみです」

と、おっしゃっていただいたのを大変うれしく思いました。

体育館でのステージの最後の催し物として今年初めて行われた、千葉県立幕張総合高等学校ダンス部によるダンスショーは、若者らしいきびきびとした動作に感動を受けました。

幕張総合高等学校ダンス部の皆様には、ダンスを見せていただいただけでなく、福祉まつりの後片付けも手伝ってくださいました。ありがとうございます。

北ステージでは、恒例のMスプラッシュダンスショーは、千葉ロッテマリーンズのQVCマリンフィールドでの最終戦で来られますんでしたが、城西国際大学チアリーディング部・よさこい「ACT」による演舞や雨曜日によるカラオケ等で大いに盛り上がっていました。

他のエリアでは、フワフワキャンドレイプレイランドや移動動物園、宝探し等で子供達の歓声に包

まれ、和やかで、お父さん、お母さんの笑みがこぼれていました。

ここで、ロザリオ福祉まつりの歴史を少し書かせていただきます。福祉まつりは平成2年に聖母療育園の保護者の方々が「利用者さんに買い物を経験をさせたい」と考えたのが始まりです。

当時は、障害のある方が町中で買い物などをするのは難しい時代でした。そこで聖母療育園のホールで保護者の方々がバザーを開き、利用者さんに買い物の機会を設けました。それが福祉まつりの始まりです。

平成3年には聖マリア園、平成6年には聖家族園等がそれぞれ開所し、その規模も年々大きくなりました。当時名称は「福祉バザー」と記憶しており、主に収益を上げる事が目的であり、収益は全て開設施設を中心とした施設整備に充当していました。

平成10年頃からは、名称は現在の「ロザリオ福祉まつり」になり、第12回から旭市身体障害者福祉協会との共催という形がとられ障害者を中心に置き、小、中学生を始めとする多くのボランティア参加型のおまつりに変わり現在に至

っています。

今回のテーマは、「夢 新たな一歩」、利用者主体の福祉まつりを計画しました。それぞれの施設・事業所が工夫し利用者主体の福祉まつりの新しい一歩が進められたと思います。

また、今年より福祉まつりの運営方式を、法人主導から各施設・事業所の協働による方式へと変更し、聖家族園チームが事務局を担当しました。なかなか慣れず皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、協力団体、福祉団体、ボランティアの皆様、そして多くの職員の協力により福祉まつりを無事終了することができました。ありがとうございます。



新連載 私の新人時代 ①

「30年前を振り返って」

聖マリア園 園長 小池秋男

私の新人時代は約30年位前のこと
で思い出すのも大変です。

海上寮療養所は旭市野中の畑と
田んぼの中にポツンと3階建ての
白い建物があるという環境でし
た。のどかでのんびりとした印象
でした。

そんな海上寮に27才で看護補助
で入り、初めて尽くしで失敗ばか
りでしたが、4年間の看護学生後、
看護師として勤務することになり
ました。病棟は男子閉鎖病棟で50
名の患者に12名位の職員、男性職
員が5名で一人当直、5日に1回、
月6回が平均当直回数でしたが、
協力的な患者もいて余り苦ではあ
りませんでした。職員は年配の看
護補助の人達が色いろ面倒を見て
くれたり、世話を焼いたり家庭的
な雰囲気でもり易かったです。
病院内は鈴木純一先生が院長就
任後で、グループ療法（集団精神
療法）を盛んに行っていました。
映画「カッコーの巣の上で」の中
でもグループ療法が行われてい

て、初心者ながら先端を行ってい
るんだと鼻を高くしたものです。
グループ終了後の話し合いで、患
者の発言や行動（動作）について細
かく検討し、治療及び看護に役立
てる訳で、洞察力や精神力等を学
ぶ良い機会となりました。精神科
の知識・技術を学んだ日々でした。

社会的には、昭和59年に宇都宮
病院事件が発覚。入院患者が看護
職員の暴行で58年に2名死亡した
ことが報道され、日本の精神科入
院患者の人権侵害が国連人権委員
会で問題とされ、法律の改定へと
至りました。最近の「袖ヶ浦福祉
センター養育園」事件と似ており
驚いています。歴史は繰り返すとい
いますが、「人権侵害」「虐待行為」
をしないと声を高め、戒めを忘れ
ず日々の業務に励んでいきます。

あの頃、お世話になった小原ケ
イ所長はじめ、和田理事長、長岐
さん、伊藤看護長、土居先生他た
くさんの先輩方に感謝申し上げます。
す。

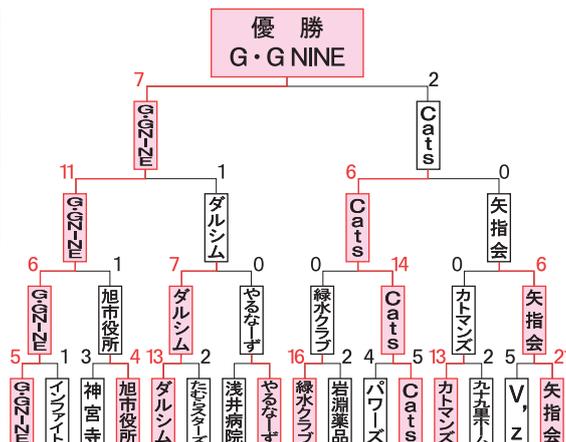
第20回長嶋旗争奪野球大会

佐原聖家族園 係長 飯島広司

8月3日（日）35度を超える猛
暑の中、長嶋旗争奪野球大会の準
決勝・決勝の3試合が行われまし
た。炎天下での熱戦を制したのは
2試合150球を超える熱投を見
せた高橋投手を擁するG・G N
INEでした。第20回の記念大会
での優勝おめでとうございます。

さて、本大会も20年の時を経て
大きく様変わりしてきました。珍
プレー続出の「ザ・草野球」から
1点を争うハイレベルな大会への
変貌、父から子への世代交代、生
涯現役を貫く選手と新規参加の世
代を超えた対戦、どれも大会の醍
醐味であると同時に、20年にわた
る長嶋旗争奪野球大会の歴史を感
じることができます。

20回という大きな節目を迎える
ことができたのは、多くの皆様
のご支援ご協力の賜物と心より感謝
申し上げます。関係者一同、この
大会がますます発展し、着実に歴
史を積み重ねていけるよう努めて
まいります。今後もご協力のほど
よろしくお願いいたします。



平成26年度 合同防災訓練

みんなの家 所長 辻内章章



平成26年9月3日(水)合同防災訓練を実施しました。今年は大規模地震に伴い、火災が発生し通報と避難誘導等の訓練を行い、災害本部への報告及び旭市消防署消防隊と野中地区(旭第二分団3部)消防団の皆さんと消火訓練等、総合的な合同訓練を行いました。

地震の発生時には全員机の下に避難し、職員は窓等の開放を行い「揺れが収まりました。」の合図が出るまでその場で待機しました。その後喫茶ひまわりから火災が発生すると、第一消火班が火消しに失敗し、消防署への通報、各施設への応援要請を行いました。指定の避難場所に利用者が避難したことを確認し、各施設からの応援と消防署の方の指示により、消火活動も行いました。昨年までは体育館に災害本部を設置していましたが、今年は体育館前の喫茶ひまわりの火災であることから、聖母療育園玄関前を災害本部としました。

当日の訓練参加者は862名(利用者522名、職員318名、旭消防署職員7名、野中地区消防団7名、野中地区伊藤副区長)でした。今回の訓練を通して、訓練の重要性を認識したと同時に訓練内容等についても今後より現実味のある内容になればと感じました。ご協力いただきました皆様に感謝致します。ありがとうございます。



長岐ホール スロープ手すり修繕

みんなの家 石田春江

みんなの家・喫茶ひまわり北側、長岐ホールのスロープ手すり修繕を行いました。

長岐ホールは、みんなの家利用者さんたちの昼食の場兼休憩所となっており、また、各施設の保護者様方に多く利用されています。

外側のスロープ手すりですが、雨や地震の影響により根元から腐りはじめ、今回福祉まつりの前にと修繕を行いました。お陰様で、利用者さん達が手をかけても安心して通行できるようになりました。ありがとうございました。



◆◆ご寄付に感謝◆◆

千葉県共同募金会様より

ふたば保育園

この度、ふたば保育園では千葉県共同募金会様からの助成により、児童の送迎に使用するトヨタ社ハイエースのリフトカーを購入することができました。

リフトカーに初めて車椅子で乗車した児童は、少し恥ずかしそうにしながら乗り心地は「すごくいい」と伝えてくれました。リフトカーを気に入り乗ったまま降りた



がらない子や、降りた後も「もう1回乗りたい」「かっこいいな」と、こどもたちの声が弾んでいます。

また、公園や買い物など保育の活動に広がりができた事に、職員共にとっても喜んでおります。大切に使用させていただきます。

この場をお借りして、千葉県共同募金会の皆様からの温かいお気持ちに心より感謝申し上げます。

海上中学校様より

みんなの家

初夏に海上中学校の皆様より、美しく咲き始めたばかりのマリーゴールドをいただきました。事務

所の玄関前と喫茶ひまわりの花壇にもぎやかになり、お客様、利用者さんたちを迎えることができ、とても感謝しています。この場をお借りしまして御礼申し上げます。ありがとうございます。



ヤマサ醤油株式会社様、ヒゲタ醤油株式会社様より

東総就業センター

この度、日頃より当センターの運営に大変お世話になってい

『ヒゲタ醤油株式会社様』より、しょうゆと昆布だし10本入りを合計32ケース、『ヤマサ醤油株式会社様』より、ごまだれ、すき焼きのたれ等12本入り合計6ケースを寄贈品として頂きました。

実用性の高い貴社の製品を、気持ちよこめて寄贈頂いた事に、センタースタッフ一同心より感謝致します。

さて、寄贈品につきましては、第25回ロザリオ福祉まつりにて盛況に販売させて頂きました。また、この売り上げについては「のぞみ会」（障がいのある方達が自主的に運営する会）の活動費とさせて頂いております。

障がいのある方の職業生活を支える為には、余暇活動を充実させる事と当事者同士が支え合える仕組み創りが効果的だと考えています。今回の寄贈品については、障がいのある方の職業生活を支える為の活動費の一助とさせて頂いた事について、この場を借りて報告させて頂きます。

ヤマサ醤油株式会社様、ヒゲタ醤油株式会社様へ心より御礼申し上げます。

ありがとうございます。

第25回ロザリオ福祉まつりにご協力いただきました
ありがとうございます

【支援団体】

- リーフ 様
- 黒潮会 様
- 光園芸 様
- 高木鮮魚店 様
- 白水会 様
- みよし会 様
- 伊藤工務店 様
- 神宮寺ソフトクラブ 様
- 足川岡若葉会 様
- 旭遊技業組合 様
- NIT東日本南関東銚子営業支店
- ボーイスカウト旭第2団 様
- ガールスカウト千葉69団 様
- あなたのちやわん 様
- 株ダイユー恒産 様
- 心の窓&マミーハウス 様
- 鈴木建設株式会社 様
- ハッピーバブルン 様
- ラッキーキッズ 様

【ボランティア】

- 旭市立矢指小学校 様
- 旭市立旭第一中学校 様
- 旭市立旭第二中学校 様
- 旭市立飯岡中学校 様
- 旭市立海上中学校 様
- 旭市立干潟中学校 様
- 銚子市立銚子中学校 様
- 千葉県立銚子商業高等学校 様
- 千葉県立多古高等学校 様
- 千葉県立佐原白楊高等学校 様
- 敬愛大学八日市場高等学校 様
- 横芝敬愛高等学校 様
- 千葉県立松尾高等学校 様
- 千葉県立匝瑳高等学校 様
- 千葉県立幕張総合高等学校ダンス部 様
- あずさ第一高等学校 様
- 成田国際福祉専門学校 様
- 植草学園短期大学 様
- 聖徳大学短期大学 様
- 国保小見川総合病院付属看護専門学校 様
- 旭中央病院附属看護専門学校 様
- 城西国際大学 様
- 城西国際大学チアリーディング部 様
- 千葉大学 様
- 東京情報大学 様

(順不同)

第25回ロザリオ福祉まつり

H 26.9.28



破けちゃった！！
残念。。。。。



これ良い。



なでなで。



カレーライス美味しいね♪



みんなで歌って踊って♪



素敵なスマイルで
みんな笑顔に
な〜れ！！

Photo Gallery

in ウォーターフェスタ

お囃子と一緒に

わっしょい！わっしょい！

★佐原聖家族園★



今から行って
きま〜す。



キヤー♪♪気持ちいい！！



★聖家族園★



音楽に合わせて、
ワッショイ！！

リズムはこうかな〜？



美味しくいただきます。

★聖ヨセフつどいの家★



美味しく
いただきました♪



水シャワー
とっしょい！！



納涼祭
楽しんでます。

★聖マリアア園★



大勢の人がいて
にぎやか〜♪

★聖家族作業所★

バーベキューです。



作業所夏祭り！
皆楽しんでます。



★聖母療育園★

風太くんに会いに
行きました。



花王工場見学！



石鹸の分解の仕方の
実験をやりました

★みんなの家★

香取市
山車会館にて



フルーベリ
狩りです！
暑〜い！



香取就業センター



生活支援ワーカー

9月より香取就業センターに着任し、明るく誠実な人柄で前向きに取り組んでいます。今後の活躍を期待しています。

三浦 真理子

聖母療育園



看護師

聖母に来る前は小児科6年勤めていました。小児科での経験を活かして、これから頑張ってほしいです。

秋元 留美子

海上寮療養所



看護補助者

10月より常勤となりました。これからは患者様に寄り添う気持ち忘れずに！

菅生 智子

新任者紹介

房総の村にて
「決めっ」のポーズ！



